薬学部 創薬科学科・薬学府 MD カリキュラム・マップ

凡例

科目区分（両視は薄色表示）：基幹教育必修／専攻必修／専攻選択

修士課程 必修科目／修士課程 選択必修科目／修士課程 選択科目／博士課程 必修科目／博士課程 選択科目／研究指導

学年	学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）
知識・理解の実践的場面での活用（実践）	E-2. 他者と協調して研究を実施できる基本的な技能や態度を修得している。 E-1. 創薬研究者として必要な基本的な研究技術を実践できる。	E-2. 将来的に共同研究に参画できる基本的な技能や態度を修得している。 E-1. 先端的な研究を遂行する上で必要な研究技術を実践できる。	E-2. 共同研究に参画できる技能や態度を修得している。 E-1. 先端的な研究を遂行する上で必要な研究技術を自ら創造し、実践できる。
新しい知見の創出（評価・創造）			D-4. 薬学研究に必要な高度な専門的な理論や方法論を理解、統合および応用できる能力を持っている。
		D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する基礎的能力を持っている。	D-3.専門分野以外の研究分野の理論、技術、発想を取り入れた実験を展開する発展的能力を持っている。
	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための基礎能力を持っている。	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための幅広い能力を持っている。	D-2.自ら主体的に創薬研究を遂行するための専門的能力を持っている。
	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する基礎的な能力を持っている。	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する発展的な能力を持っている。	D-1. 創薬研究に関わる課題の探究や問題を解決する専門的な能力を持っている。
知識・理解の応用（適用・分析）		C-3. 学術論文発表のノウハウを理解している。	C-3. 国際的な学術論文発表のノウハウを理解している。
	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する基礎的な能力を習得している。	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探究する幅広い能力を習得している。	C-2.将来、指導的な立場で活躍できるよう、自ら的確で総合的な判断力と課題を探究できる研究推進能力を持っている。
	C-1. 国際的に活躍できる基礎的な能力を持っている。	C-1. 国際的に活躍できる幅広い能力を持っている。	C-1. 国際的に活躍できる専門的な能力を持っている。
知識・理解の習得（知識・理解）			B-2. 医薬品の研究開発を推進するための基本的な知識を理解している。
	B-1.化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした基礎的な知識を理解し、論理的に思考できる。 化学系薬学／物理系薬学／生物系薬学／医療系薬学	B-1. 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学及び医療系薬学を基盤とした幅広い知識を理解 し、論理的に思考できる。 化学系薬学／物理系薬学／生物系薬学／医療系薬学	B-1. 化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学および医療系薬学の情報を理解し、論理的に 思考できる能力を持っている。 化学系薬学／物理系薬学／生物系薬学／医療系薬学

1年生

	1Q	2Q	3Q	4Q
知識・理解の実践的場面での活用（実践）	課題協学科目			
新しい知見の創出（評価・創造）	創薬科学総論 I	創薬科学総論 II	創薬科学総論 III	創薬科学総論 IV
	課題協学科目			
知識・理解の応用（適用・分析）	課題協学科目			
	課題協学科目			
知識・理解の習得（知識・理解）	創薬科学総論 I	創薬科学総論 II	創薬科学総論 III	創薬科学総論 IV

2年生

	1Q	2Q	3Q	4Q
知識・理解の実践的場面での活用（実践）	医療における倫理			薬学基礎実習 I＋II
				薬学基礎実習 I＋II
新しい知見の創出（評価・創造）				薬学基礎実習 I＋II
				薬学基礎実習 I＋II
			安全教育	薬学基礎実習 I＋II
知識・理解の応用（適用・分析）		国際薬学特別演習A		薬学基礎実習 I＋II
		国際薬学特別演習A		
知識・理解の習得（知識・理解）	医薬化学系英語講義I			
	生物薬学系英語講義I			
	物理薬学系英語講義I			
	医療薬学系英語講義I			
	医薬化学系英語討論I			
	生物薬学系英語討論I			
	物理薬学系英語討論I			
	医療薬学系英語討論I			
	国際薬学特別演習A	専門英語	専門英語	
	言語文化科目			

3年生

	1Q	2Q	3Q	4Q
知識・理解の実践的場面での活用（実践）	社会と健康		薬害	
	薬学基礎実習 II＋III＋IV	薬学基礎実習 III＋IV	薬学特別実習	
	薬学基礎実習 II＋III＋IV	薬学基礎実習 III＋IV	薬学特別実習	
新しい知見の創出（評価・創造）	薬学基礎実習 II＋III＋IV	薬学基礎実習 III＋IV	物理化学実習	有機化学実習
			構造化学実習	
			薬学特別実習	
	薬学基礎実習 II＋III＋IV	薬学基礎実習 III＋IV	薬学特別実習	
				創薬化学
知識・理解の応用（適用・分析）	薬学基礎実習 II＋III＋IV	薬学基礎実習 III＋IV	物理化学実習	有機化学実習
			構造化学実習	
知識・理解の習得（知識・理解）				

薬学部 創薬科学科・薬学府 MD カリキュラム・マップ

凡例　科目区分（再掲は薄色表示）：基幹教育必修／専攻必修／専攻選択／修士課程必修科目／修士課程選択必修科目／修士課程選択科目／博士課程必修科目／博士課程選択科目／研究指導

学年	学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	1年生 1Q	1年生 2Q	1年生 3Q	1年生 4Q	2年生 1Q	2年生 2Q	3年生 3Q	3年生 4Q	3年生 1Q	3年生 2Q
主体的な学び・協働		A-4.現象や技術情報を明確に記述する基礎的な文章力と、自分の考えを明確に述べる基礎的な表現力・情報発信能力を持っている。	A-4.現象や技術情報を明確に論理的に記述する文章力と、自分の考えを明確に述べる表現力・卓越した情報発信能力を持っている。										
	A-3.プレゼンテーション及び討論の基礎能力を備えている。	A-3. プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。	A-3. 国際的に通用するプレゼンテーション能力および討論力を持っている。								薬学基礎実習 I＋II	薬学基礎実習 II＋III＋IV	薬学基礎実習 III＋IV
	A-2. 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	A-2.他分野に対する理解力、異分野交流能力と学際的視点を持っている。	A- 2. 自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的教養力・学際的発信力を備えている。	基幹教育セミナー 課題協学科目 健康スポーツ科目						専門英語		専門英語	
	A-1. 専門知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	A-1.自ら進んで課題に取り組む積極性を持っている。	A- 1. 自ら進んで挑戦的な課題に取り組む積極性を持っている。	理系ディシプリン 文系ディシプリン 基幹教育セミナー サイバーセキュリティー科目 言語文化科目				理系ディシプリン 文系ディシプリン 言語文化科目		国際薬学特別演習A			

学年	学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	4年生 3Q	4年生 4Q	4年生 1Q	4年生 2Q	4年生 3Q	4年生 4Q
主体的な学び・協働									
	A-3.プレゼンテーション及び討論の基礎能力を備えている。	A-3. プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。	A-3. 国際的に通用するプレゼンテーション能力および討論力を持っている。						
	A-2. 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	A-2.他分野に対する理解力、異分野交流能力と学際的視点を持っている。	A- 2. 自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的教養力・学際的発信力を備えている。						
	A-1. 専門知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	A-1.自ら進んで課題に取り組む積極性を持っている。	A- 1. 自ら進んで挑戦的な課題に取り組む積極性を持っている。	薬学特別実習					

学年	学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	M1 前期 1Q	M1 前期 2Q	M1 後期 3Q	M1 後期 4Q	M2 前期 1Q	M2 前期 2Q	M2 後期 3Q	M2 後期 4Q	最終試験	D1 前期	D1 後期	D2 前期	D2 後期	D2 2年通年	D3 前期	D3 後期	D3 3年通年	最終試験
主体的な学び・協働													先端研究指導実習		先端インターンシップ実習			先端科学論文発表			
	A-3.プレゼンテーション及び討論の基礎能力を備えている。	A-3. プレゼンテーションおよび討論する能力を持っている。	A-3. 国際的に通用するプレゼンテーション能力および討論力を持っている。										学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		
	A-2. 多様な知の交流を行い、他者と協働し問題解決にあたることができる。	A-2.他分野に対する理解力、異分野交流能力と学際的視点を持っている。	A- 2. 自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的教養力・学際的発信力を備えている。	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究	有機化学系教育 指導実習 物理薬学系教 育指導実習	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究	生物薬学系教育 指導実習 医療薬学系教 育指導実生物薬学研究技術実習 構造解析技術実習	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究	有機化学系教育 指導実習 物理薬学系教 育指導実習	医薬化学研究 生物薬学研究 物理薬学研究 医療薬学研究	生物薬学系教育 指導実習 医療薬学系教 育指導実生物薬学研究技術実習 構造解析技術実習										
	A-1. 専門知識と豊かな教養を背景とし、自ら問題を見出し、創造的・批判的に吟味・検討することができる。	A-1.自ら進んで課題に取り組む積極性を持っている。	A- 1. 自ら進んで挑戦的な課題に取り組む積極性を持っている。																		

学年	学修目標（学士）	学修目標（修士）	学修目標（博士）	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
学年				1年生				2年生				3年生	
学士課程の時期区分				「導入・基礎」期						「発展」期			

学年	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前期		後期				前期		後期				最終試験
学年	4年生						M1						M2						
学士課程の時期区分	「統合」期																		

学年	D1 前期	D1 後期	D2 前期	D2 後期	D2 2年通年	D3 前期	D3 後期	D3 3年通年	最終試験
学年	D1		D2			D3			

アセスメント計画	基礎科目の習得度を成績分布や授業アンケートを通じて確認する。	重点科目の知識・能力の習得度を、成績分布や授業アンケートを通じて確認する。	薬学特別実習等を、学修目標達成度評価表に基づいて審査する。	修士論文の審査の中で、学修目標達成度評価表に基づいて審査する。　博士論文の審査の中で、学修目標達成度評価表に基づいて審査する。